



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 東プレ株式会社
コード番号 5975 URL <https://www.topre.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山本 豊
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 野田 貴之
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3271-0711

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	259,577	26.6	13,211	530.6	21,116	116.0	14,379	178.5
2023年3月期第3四半期	205,102	19.9	2,095	64.9	9,776	1.7	5,163	22.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 19,238百万円 (150.3%) 2023年3月期第3四半期 7,685百万円 (6.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	273.92	
2023年3月期第3四半期	98.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	355,091	211,393	58.6	3,961.68
2023年3月期	339,376	194,551	56.3	3,640.37

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 207,963百万円 2023年3月期 191,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		10.00		20.00	30.00
2024年3月期		25.00			
2024年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	20.5	16,000	118.3	25,000	51.3	16,000	59.9	304.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	54,021,824 株	2023年3月期	54,021,824 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,528,039 株	2023年3月期	1,527,923 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	52,493,862 株	2023年3月期3Q	52,485,476 株

当社は、2017年3月期第2四半期会計期間より、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10
3. その他	10
(継続企業の前提に関する重要事象等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高 2,595 億 7 千 7 百万円、前年同期比 544 億 7 千 4 百万円の増収 (26.6%増)、営業利益 132 億 1 千 1 百万円、前年同期比 111 億 1 千 6 百万円の増益 (530.6%増) となりました。経常利益は、211 億 1 千 6 百万円、前年同期比 113 億 3 千 9 百万円の増益 (116.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、143 億 7 千 9 百万円、前年同期比 92 億 1 千 5 百万円の増益 (178.5%増) となりました。

②事業セグメント別の状況

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の業績管理区分の一部見直しに伴い、従来「プレス関連製品事業」及び「定温物流関連事業」に含めていた輸送事業の業績は「その他」に含めており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

<プレス関連製品事業>

プレス関連製品事業におきましては、半導体不足の影響が緩和し、国内や北米において、前年同期より物量が増加しました。これによりプレス関連製品事業全体での売上高は、2,175 億 9 千 4 百万円、前年同期比 494 億 8 千万円の増収 (29.4%増) となりました。利益面では、中国において、物量減少の影響を受けたものの、プレス関連製品事業全体では物量の増加により、セグメント利益 (営業利益) は、95 億 2 千 9 百万円 (前年同期はセグメント損失 (営業損失) 4 億 4 千 5 百万円) となりました。

<定温物流関連事業>

定温物流関連事業におきましては、冷凍車部門において、部材不足の影響が緩和したことにより、売上は前年同期を上回りました。その結果、定温物流関連事業全体での売上高は、306 億 1 千 7 百万円、前年同期比 53 億 7 千万円の増収 (21.3%増) となりました。セグメント利益 (営業利益) は、価格転嫁に一定の理解を得ることができたことなどにより、24 億 9 千 3 百万円、前年同期比 10 億 7 千 2 百万円の増益 (75.5%増) となりました。

<その他>

空調機器部門におきましては、住宅用換気システムにおいて、高付加価値製品へと切り替えが進んだことなどにより、売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。電子機器部門におきましては、「REALFORCE」のゲーミングキーボードにおいて、機能拡張を行ったことにより販売台数が増加しましたが、タッチパネル応用製品の販売が大きく落ち込んだことなどから、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。輸送事業におきましては、売上、営業利益ともに前年同期を下回りました。その結果、その他の事業全体での売上高は、113 億 6 千 4 百万円、前年同期比 3 億 7 千 6 百万円の減収 (3.2%減) となりました。セグメント利益 (営業利益) は、11 億 8 千 4 百万円、前年同期比 1 億 7 百万円の増益 (10.0%増) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、主に現金及び預金の増加などにより、1,587 億 7 千 1 百万円となりました。

固定資産では、主に建設仮勘定の増加などにより、1,963 億 1 千 9 百万円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ 157 億 1 千 5 百万円増加の 3,550 億 9 千 1 百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、主に一年内償還予定の社債の増加などにより、1,206 億 5 千 8 百万円となりました。

固定負債では、主に社債の減少により、230 億 3 千 8 百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ 11 億 2 千 7 百万円減少の 1,436 億 9 千 7 百万円となりました。

(純資産の部)

主に利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ 168 億 4 千 2 百万円増加の 2,113 億 9 千 3 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、2023 年 11 月 14 日公表の予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,873	58,242
受取手形及び売掛金	59,830	56,449
有価証券	50	50
棚卸資産	27,446	31,952
その他	10,399	12,077
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	147,598	158,771
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	58,788	59,881
機械装置及び運搬具（純額）	63,493	61,169
建設仮勘定	10,051	14,289
その他（純額）	26,752	24,631
有形固定資産合計	159,085	159,971
無形固定資産	4,503	4,411
投資その他の資産		
投資有価証券	15,773	17,799
その他	12,461	14,153
貸倒引当金	△46	△15
投資その他の資産合計	28,187	31,936
固定資産合計	191,777	196,319
資産合計	339,376	355,091

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,303	63,207
短期借入金	2,500	2,500
1年内返済予定の長期借入金	16,417	12,019
1年内償還予定の社債	-	20,000
未払法人税等	4,254	3,135
賞与引当金	2,352	1,178
役員賞与引当金	56	37
製品保証引当金	170	179
その他	16,263	18,400
流動負債合計	100,318	120,658
固定負債		
社債	30,000	10,000
長期借入金	7,384	5,303
長期未払金	29	7
繰延税金負債	5,371	6,002
P C B 処理引当金	41	35
役員株式給付引当金	44	70
退職給付に係る負債	225	272
その他	1,409	1,348
固定負債合計	44,505	23,038
負債合計	144,824	143,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,610	5,610
資本剰余金	4,735	4,899
利益剰余金	164,730	176,742
自己株式	△1,082	△1,123
株主資本合計	173,993	186,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,218	5,427
為替換算調整勘定	12,509	16,038
退職給付に係る調整累計額	375	368
その他の包括利益累計額合計	17,103	21,833
非支配株主持分	3,454	3,430
純資産合計	194,551	211,393
負債純資産合計	339,376	355,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	205,102	259,577
売上原価	190,677	233,390
売上総利益	14,424	26,186
販売費及び一般管理費	12,329	12,975
営業利益	2,095	13,211
営業外収益		
受取利息	282	902
受取配当金	405	434
有価証券売却益	17	-
固定資産賃貸料	46	43
貸倒引当金戻入額	-	32
為替差益	6,668	6,506
助成金収入	220	277
持分法による投資利益	205	-
その他	252	288
営業外収益合計	8,099	8,484
営業外費用		
支払利息	149	90
社債利息	42	42
固定資産賃貸費用	5	3
貸倒引当金繰入額	4	-
外国源泉税	48	52
休業手当	129	-
持分法による投資損失	-	334
その他	38	56
営業外費用合計	417	579
経常利益	9,776	21,116
特別利益		
固定資産売却益	69	95
投資有価証券売却益	51	-
受取保険金	-	61
その他	22	5
特別利益合計	143	162
特別損失		
固定資産除却損	1,180	146
投資有価証券売却損	2	6
固定資産盗難損失	-	71
システム障害対応費用	-	457
その他	19	1
特別損失合計	1,202	683
税金等調整前四半期純利益	8,717	20,595
法人税、住民税及び事業税	5,184	6,884
法人税等調整額	△1,860	△777
法人税等合計	3,324	6,106
四半期純利益	5,393	14,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	230	110
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,163	14,379

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	5,393	14,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78	1,221
為替換算調整勘定	1,754	3,287
退職給付に係る調整額	40	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	418	246
その他の包括利益合計	2,291	4,749
四半期包括利益	7,685	19,238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,481	19,109
非支配株主に係る四半期包括利益	203	129

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(連結子会社の解散決議)

当社は、2022年8月24日の取締役会において、当社の連結子会社であるPT. Topre Indonesia Autopartsを解散及び清算することを決議いたしました。

1. 解散及び清算の理由

PT. Topre Indonesia Autopartsは、2019年3月の会社設立以降、用地を取得し、主要メーカーへの受注に向けて準備を進めてまいりました。しかしながら、さまざまな環境の変化があり、将来的に事業化は困難ということから、当社グループの経営資源の選択と集中を目的として解散および清算を決議いたしました。

2. 解散する連結子会社の概要

- (1) 社 名：PT. Topre Indonesia Autoparts
- (2) 所 在 地：Ruko Notheredame Blok C No.02 Kota Deltamas Desa Sukamahi, Kecamatan Cikarang Pusat Kabupaten Bekasi. Jawa Barat 17530 Indonesia
- (3) 代 表 者：秋吉 一人
- (4) 事 業 内 容：自動車用プレス部品の製造及び販売
- (5) 資 本 金：\$13,640,000 (当社100%出資)
- (6) 設 立 年 月：2019年3月
- (7) 大株主及び持株比率：東プレ株式会社100%

3. 解散および清算の日程

現地の法律に従い必要な手続きが完了次第、清算終了の予定ですが、具体的な日程は現在時点で未定です。

4. 今後の見通し

本解散および清算による2024年3月期への連結業績への影響は軽微であります。

5. 当該清算による営業活動等への影響

当該連結子会社の清算に伴う営業活動等への影響は軽微であります。

(四半期連結損益計算書関係)

システム障害対応費用

当社の連結子会社であるTopre America Corporationへのサイバー攻撃によるシステム障害に係る諸費用であり、主な内訳は外部専門業者への調査・復旧費用等を支払いしたものであります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	168,114	25,246	193,361	11,741	205,102	—	205,102
セグメント間の内部 売上高又は振替高	679	9	688	842	1,531	△1,531	—
計	168,793	25,256	194,049	12,583	206,633	△1,531	205,102
セグメント利益又はセ グメント損失 (△)	△445	1,420	975	1,076	2,052	42	2,095

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東邦興産(株)、当社の空調機器事業及び電子機器事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去額・その他の調整額であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	217,594	30,617	248,212	11,364	259,577	—	259,577
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	16	16	935	951	△951	—
計	217,594	30,633	248,228	12,300	260,529	△951	259,577
セグメント利益	9,529	2,493	12,022	1,184	13,206	4	13,211

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東邦興産(株)、当社の空調機器事業及び電子機器事業であります。

2. セグメント利益の調整は、セグメント間取引消去額・その他の調整額であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の業績管理区分の一部見直しに伴い、従来「プレス関連製品事業」及び「定温物流関連事業」に含めて表示していた輸送事業の業績は「その他」に含めて表示しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

該当事項はありません。